

事務事業名		本庁舎駐車場管理事業		所属部	総務部	所属課	管財課
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉		所属G	財産管理監視G	課長名	井上芳樹
	施策名	〈05〉時代にあった行政サービスの実現		担当者名	上代真一	電話番号	0854-40-1025 (内線) 2372
	目的: 対象	行政機能	意図	公平で効率的なサービスを提供する。	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 1 0 0 2 財産総務管理事業	
	基本事業名	〈016〉公共施設の適正管理		項 目 中事業 中事業名 0 5 3 0 0 1 財産総務管理事業			
目的: 対象	行政機能	意図	公共施設を適正に管理する。				

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (26年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
本庁舎駐車場の確保及び維持管理

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	30年度実績(30年度に行った主な活動)	元年度計画(元年度に計画する主な活動)				
	①借地契約による賃借料の支払い ②駐車場の除草作業	①借地契約による賃借料の支払い ②駐車場の除草作業 ③継続契約(1年契約の自動更新)の更新				
	② 活動指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	ア 駐車台数	台	470	470	470	470
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	本庁舎駐車場	ア 駐車台数	台	470	470	470	470
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)	
・本庁舎駐車場用地として必要台数分を確保する。 ・駐車場の維持管理(除草)をする。	ア 駐車台数	台	470	470	470	470	
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)		② コストの推移		単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)
賃借料 8,726千円 手数料 329千円	合計 9,055千円	事業費	国庫支出金	千円				
			県支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円	8,546	8,833	9,055	7,526
			事業費計(A)	千円	8,546	8,833	9,055	7,526
		人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	
			延べ業務時間	時間	256	243	317	
			人件費計(B)	千円	1,016	991	1,373	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	9,562	9,824	10,428	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
本庁舎駐車場用地として予定している木次定住促進住宅敷地が利用できるまでの間、周辺の借地にて必要面積を確保する(平成26年からの5年契約)。	令和元年度末に借地契約期間が終了するが、本庁舎駐車場整備が出来るまで引き続き借地契約を延長する。	特になし

事務事業名	本庁舎駐車場管理事業	所属部	総務部	所属課	管財課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	駐車場借上げが解消することにより、成果の向上が見込める。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	駐車場の確保ができなくなり、本庁舎利用者への影響が生じる。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	理由		他との事業との関連はない。
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	駐車場借上げを解消することにより借地料が削減できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	最低限の人員で対応しており、削減の余地がない。
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	駐車場利用規程や本庁舎運用方針を設け、公平・公正な運用を行っている。
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	駐車場用地の借地は土地の取得が出来るまでの緊急措置であり、土地の取得により借地料が削減できる。	
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり			
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持低下</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持低下	●	×			×	×
		コスト																		
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持低下	●	×																	
		×	×																	
<p>本庁舎駐車場用地として予定している木次定住促進住宅敷地が利用できるまでは、借地契約により駐車場の確保を行うが、土地取得ができれば借地料は削減できる。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			